

プログラムの概要について

受験生・保護者の皆様

本プログラムは、平成24～28年度文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業「(A)医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」に採択された「基礎研究医養成のための順天堂型教育改革」により整備されたものです。

- ① 医師となるための医学部の通常のカリキュラムと並行して、基礎研究教育を行う特別コースを設けることで、**将来の医学界を担う医学研究のエリート**を育成します。
- ② プログラムの詳細については、入学後に説明を行い、1年次より随時参加を受け付けます。研究医特別選抜で入学した学生は、基礎研究医養成プログラムの特別コースへ進学し、基礎医学研究者養成奨学金の貸与を受けることになります。
- ③ 研究活動は、クラブ活動と同様に昼休憩時間・放課後・長期休暇を有効に利用し、医学部授業と両立させます。そして、**6年間のカリキュラム終了後、医師国家試験を受験のうえ医師免許を取得**し、下記の4コースから1つを選択し、基礎系大学院に進みます。
基礎医学研究者育成コース：国際的に活躍する基礎医学研究者を目指すコース
Physician-Scientist育成コース：臨床経験を生かして最先端の基礎臨床融合研究を行い、成果を臨床応用するための研究(橋渡し研究)を推進する研究医を目指すコース
高度病理医育成コース：「福島関東病理法医連携プログラム『つなぐ』」の病理専門医養成プログラム
社会医学系専門医育成コース：社会医学系専門医を取得し、保健、医療、福祉、環境などに携わる社会医学系研究者、医系技官、国際公務員などを目指すコース
- ④ 経済的サポートとして、希望者には学部4年次から月10万円の奨学金貸与(最大7年間、進路により返済義務免除)、学会発表費用援助、大学院在学中のティーチングアシスタント・リサーチアシスタント採用(有給)などが研究を行っている期間を通して受けられ、さらに大学院修了後は教員として採用されます※。
※研究継続など、一定の条件を満たす場合
- ⑤ 本プログラムにより、本学からの**医学・医療の進歩に寄与するグローバルな研究医**の輩出を目指しています。

また、平成29年度～令和3年度文部科学省「基礎研究医養成活性化プログラム」選定事業により、「福島関東病理法医連携プログラム『つなぐ』」プロジェクトとして大学院博士課程に専門プログラムが整備されました。本学、東京大学、福島県立医科大学をICTと循環型人材交流で結び、地域中核病院において必要とされる死因究明、遠隔病理診断、そしてゲノム医療の知識を身に付けた病理医を育成し、地域における病理医の配置実現を目指す次世代の病理医養成プログラムです。「福島関東病理法医連携プログラム『つなぐ』」ホームページ <http://tsunagu-project.umin.jp/>

医学研究のエリート育成

医学研究のエリート育成を目的とした『基礎医学研究者養成プログラム』

<https://www.juntendo.ac.jp/med/>

さらに詳しく知りたい方は…医学部ホームページからクリック!



コンテンツ Contents

- 01 プログラム概要
医学部・大学院をシームレスにつなぐ特別コースを設置
- 02 運営体制
基礎研究医養成プログラムの運営体制
- 03 プログラム教育内容
基礎医学研究者の育成と臨床への橋渡し研究医の養成
- 04 参加教室等一覧
本学からプログラムへ参加する基礎系教室・研究センター
- 05 活動報告
セミナー・特別カリキュラム等の紹介
- 06 学生の皆さんへ
プログラム紹介パンフレット、各種申請書類等



順天堂大学全景

順天堂大学 医学部

〒113-8421 東京都文京区本郷2丁目1番1号
Tel:03-3813-3111(大代表)

学生 VOICE

学生の声をお届け

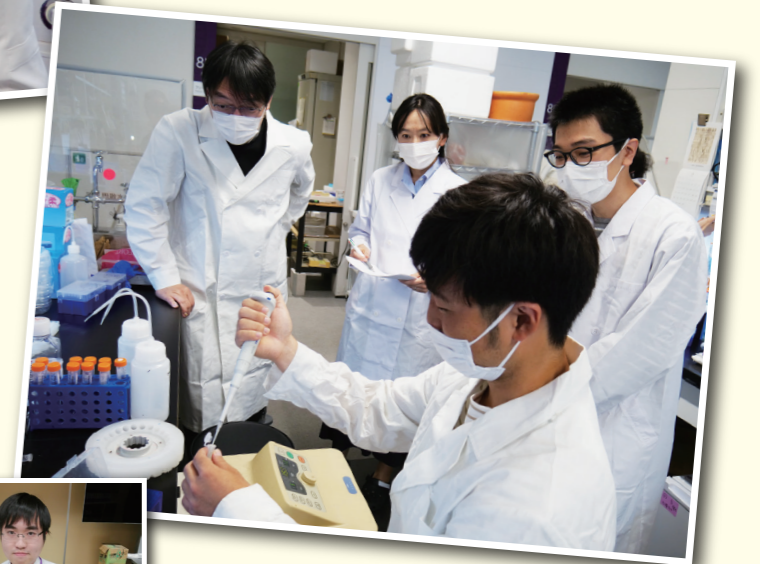
患者さんに役立つ 研究をしませんか？

順天堂大学 医学部

～基礎研究医養成プログラムの紹介～



研究室での活動

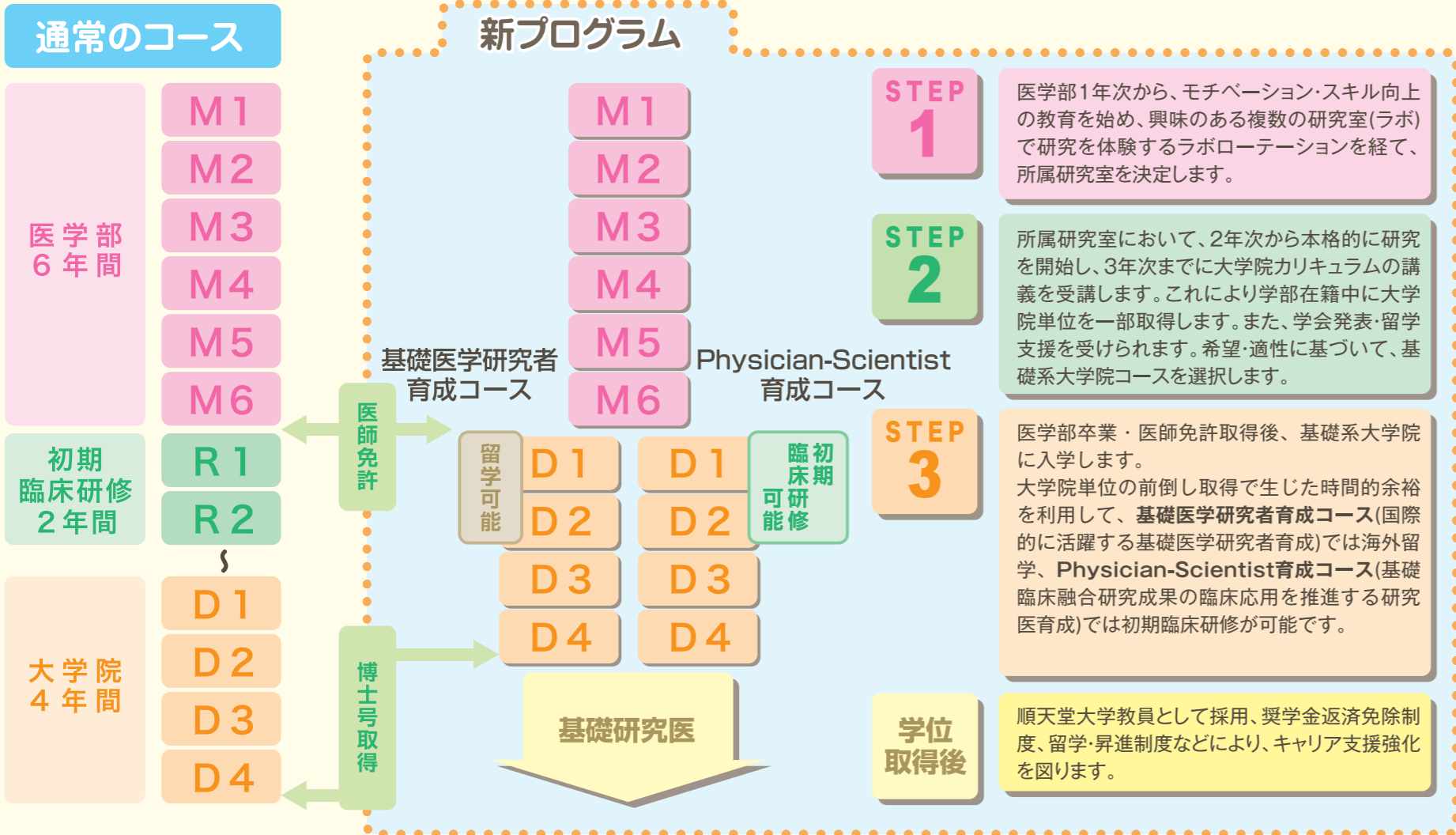


研究室での活動



学生、卒業生
によるセミナー

順天堂大学では、医学部と大学院をシームレスにつなぐ特別コースを設け、基礎研究医を養成します。研究により多くの患者さんを救いたいと考えている皆さん、このプログラムに参加しませんか？



プログラム支援体制

- 参加学生専用スペース** (登録学生は自由に利用できます)
 - 専任事務担当者常駐
 - 書籍やDVDの閲覧、PCやコピー機の利用ができ、会合・自習・ランチ等に使えるフリースペースがあります。
- 指導・相談体制**
 - 専任チューター2名、キャリア支援相談室員1名が、面談によりそれぞれの参加学生のニーズに対応します。
- 学会発表・留学支援**
 - 国内外の学会発表や短期留学の際には、旅費の補助が受けられます。また、実践的な英語指導を行います。

同級生や先輩の活動の様子を知ることができ、とても参考になります。自分のモチベーションも上がります。

このプログラムには様々なチャンスがあって、自分の可能性を広げられる環境です。

方針について悩んだ時に、研究室以外に相談できる場所があるのはありがたいです。また、的確なアドバイスも多数もらうことができました。

STEP 1

M1研究室紹介 (2019年度)

研究内容について、実際に先生方からお話を聞く機会を持って、研究への興味が高まりました。

学生 VOICE

STEP 2

研究室での活動

十分な研究環境が整っており、実験手技なども丁寧に指導していただけです。学業との両立も問題ありません。

STEP 2

学会発表 (国内)

研究成果を学会で口頭発表し、「最優秀講演賞」を受賞することができました。

STEP 2

学会発表 (海外) (2019年度)

研究成果がより魅力的なものに映えるよう、プレゼンテーション能力に磨きをかけていきたいです。

学生 VOICE

STEP 2

学生学術奨励賞

これまでの研究成果を筆頭著者論文として発表し、また同窓会学術奨励賞をいただくことができました。

学生 VOICE

STEP 2

大学院生としての活動

卒業後すぐに、初期臨床研修と並行して大学院に進学し、研究活動も継続しています。

STEP 3

学位取得後

研究医としての活躍

医学部生の時から継続している研究テーマで博士号を取得し、基礎研究医の生活をスタートしました。

STEP 2

ラボ見学 (2019年度)

実際の研究室を見ることで、研究内容を身近に感じられました。面白そうなテーマがたくさんあり、研究開始へのモチベーションがあがりました。

STEP 2

新潟大学連携セミナーでの研究発表会 (2019年度)

普段自分が接していない研究テーマに触れ、先輩・同級生・後輩が一生懸命に研究をしていることを知る良い機会でした。

STEP 2

学会発表 (海外) (2019年度)

ディスカッションで指摘された点を、今後の研究活動に活かしていきたいです。

STEP 2

大学間交流 (2019年度)

他大学の医学部生と互いの研究の紹介や質問ができ、さらに研究へのモチベーションが高まりました。

STEP 2

留学 (2019年度)

パリ第6大学に短期留学しました。留学先で得た手法を、自分の研究にも生かしていきたいです。

STEP 2

学生の筆頭著者論文

- Kawasaki Y (D1), Front Cell Dev Biol. 9:653472, 2021
- Miyaki T (D2), Cell Tissue Res. 382(3):609-625, 2020
- Matsuo R (M6), Sci Rep. 10(1):17050, 2020
- Iwata S (M4), Antimicrob Agents Chomother. 64(11):e00382-20, 2020
- Yamaguchi A (M6), Stem Cell Rep. 14(6):1060-1075, 2020
- Fujimoto U (M3), Neuroscience. 433:163-173, 2020
- Kawasaki Y (M6), Clin Anat. 33(4):479-487, 2020
- Sakairi H (D4), ACS Chem Neurosci. 19:11(4):567-578, 2020
- Miyaki T (D1), Cell Tissue Res. 379(2):245-254, 2020
- Kawasaki Y (M5), Cell Tissue Res. 378(2): 289-300, 2019
- Suzuki Y (R1), Juntendo Med J. 65(1), 64-70, 2019
- Yamashita Y (D4), Sci Rep. 8(1):7766, 2018